

令和4年度

第2回 宮崎市総合計画審議会議事録

令和4年度第2回宮崎市総合計画審議会議事録

1 日時 令和4年8月5日(金) 13時28分～14時08分

場所 宮崎市役所本庁舎4階 災害対策本部室

2 出席委員

第1号委員 淡野 公一、勢一 智子

第2号委員 田中 大介

第3号委員 渡邊 俊隆、厚地 安、中川 育江、米良 充典、
栗原 俊朗

3 議案の内容

(1) 第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂に関する基本的な
考え方について

4 審議の経過及び結果

経過 : 別紙 議事録のとおり

結果 : 議案の内容について、「原案」のとおりとする。

議事録署名人

渡邊 俊隆

厚地 安

【長嶺部長（宮崎市）】

皆様、お疲れ様でございます。

時間には若干早いのではございますが、皆様お揃いでございますので、ただいまから、令和4年度第2回宮崎市総合計画審議会を開催いたします。

本日会議にご出席いただきました委員は、8名でございます。

宮崎市総合計画審議会条例第5条第3項の規定によりまして、会議が成立していることをご報告いたします。

なお、勢一委員におかれましては、オンラインでの参加となっておりますので、よろしく願いいたします。

また、本日まで出席いただいている委員のご紹介につきましては、お手元の名簿に代えさせていただきます。

それでは、初めに、清山 宮崎市長がごあいさつ申し上げます。

【清山市長（宮崎市）】

こんにちは。市長の清山です。

委員の皆様には、大変ご多用中のところ、わざわざお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

また日頃より市政に対する様々なご理解、ご協力を賜りまして、重ねてお礼申し上げます。

最近、新型コロナウイルス感染症は、感染者数も増えておりまして、自宅療養中の方が本市の中でも8千人ということで、毎日平均千人感染し、千人が解除されているという状況でございます。

市役所内におきましても、7月は150人以上の職員が感染するという状況がございまして、様々なところで機能が麻痺しつつありますが、まずは庁内におきましては、不要不急の業務は後回しにしながら、目の前の感染対策やそこに付随して起きている様々な事象に対してしっかり対応しようということでやっております。

できるだけ感染を抑えながら、何とか社会経済活動をまわしていきたいという思いで努力しておりますが、少しづつ厳しくなりつつあること、

そして感染者への対応や市民の皆様に対して、ハイリスクの方に対する呼びかけも行っているところでございます。

そうしたところ、ご理解賜りながら、しっかり努力してまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

また、本日ご審議いただきます第五次宮崎市総合計画につきましては、4月15日に基本構想の変更について諮問させていただきまして、この計画期間の見直しにつきましては妥当であるという答申をいただきました。

その後、本年の6月の市議会の定例会においても、そうしたことで議決いただいたところでございます。

今後、こちらの審議会並びに実務者等で組織する宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会において、基本計画の延伸した2か年分について、ご協議いただくことになると思います。

総合計画はまちづくりの基本になりますが、この改訂分につきましては、新たな戦略プロジェクト等も盛り込まれていくことになろうかと思っております。今後、こちらの審議会における忌憚のない、様々なご意見、ご議論をいただきたいと思っておりますので、どうぞご協力のほどよろしく願いいたします。

ありがとうございます。

【長嶺部長（宮崎市）】

続きまして、第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂につきまして、市長から淡野会長へ諮問書を手渡していただきたいと思っております。

諮問書の内容につきましては、お手元の資料の最後に写しを添付しております。

恐れ入りますが市長と会長は机の前にお進みください。

それでは、市長からよろしく願いいたします。

（諮問書の手交）

【長嶺部長（宮崎市）】

ありがとうございました。

席にお戻りください。

それでは規定によりまして会長が議長となって進めることになっておりますので、ここからの進行を淡野会長にお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

【淡野会長（宮崎大学）】

それでは、規定に従いまして、これから私が議事を進めさせていただきます。

どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

まず議事に入ります前に、本日の会議録署名委員2名を私の方で指名させていただきたいと思います。

本日もご出席いただいております委員の中から、渡邊委員と厚地委員にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。

渡邊委員、厚地委員はどうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事次第の方をご覧ください。

本日は報告事項2件と、協議事項が1件、その他が1件となっております。

早速ですけれども、報告事項の方から入らせていただきたいと思います。

まず1番目として第五次宮崎市総合計画基本構想の変更に関するこれまでの経緯等について、2番目として令和4年度施策評価、令和3年度の取組実績について、以上2点について、まとめて事務局から説明をお願いします。

【小野参事（宮崎市）】

事務局の企画政策課 小野と申します。

よろしくお願いいたします。

座って説明をさせていただきます。

それでは只今ございました報告事項につきまして、一括して説明をさせていただきます。

まず資料1をご覧くださいと思います。

1番に総合計画とはでございますけれども、総合計画の構成につきましては、前回の審議会におきまして説明させていただいておりますので、説明を割愛させていただきたいと思います。

続きまして、2番、基本構想の変更について、これまでの経緯でございます。

まず初めに、昨年度実施いたしました施策評価におきまして、新型コロナウイルス感染症の影響等により、「評価できない」とした指標を多数確認したところでございます。

なお、令和4年度につきましても同様でございましたが、詳細につきましては、後ほど説明させていただきたいと思います。

このことを受けまして、昨年7月27日に開催いたしました宮崎市総合計画推進会議専門部会におきまして、基本構想の計画期間を10年から7年に3年間短縮し、前期基本計画の計画期間を2年間延伸しますとともに、後期基本計画を策定せず、令和7年度を始期とする、仮称ではございますが、第六次宮崎市総合計画を前倒しで策定することを説明させていただいたところでございます。

その後、庁内での影響調査や地域協議会からの意見を踏まえまして、本年4月15日に開催いたしました本審議会におきまして、基本構想の変更について諮問を行わせていただき、4月26日付けでご承認いただく旨の答申をいただいたところでございます。

先ほど市長のご挨拶でもありましたように、基本構想の変更につきましては、6月の定例市議会におきまして議決いただいているところでございます。

なお、基本構想変更後の計画期間につきましては、資料下段に掲載しておりますとおり、計画期間は平成30年から令和6年までの7年間となるところでございます。

経緯等につきましては以上でございます。

続きまして、**資料 2 - 1** をご覧いただきたいと思います。

令和 4 年度の施策評価結果につきまして、ご説明させていただきます。

令和 4 年度施策評価は、令和 3 年度の目標値に対します実績値の達成率から内部評価を実施しまして、その後、宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会の委員の皆様によりまして、外部評価を実施したところでございます。

資料 2 - 1 は、重点項目ごとに、内訳の行が専門部会の委員の皆様の評価の内訳、評価の列が外部評価結果、その右側の列が令和 3 年度に実施した施策評価の外部評価結果、その右側の列が令和 4 年度の内部評価結果となっております。

外部評価結果の A からバー表示までの判断基準は、資料下部に記載するとおりでございます。

本年度の外部評価の総括といたしまして 3 点ご説明いたします。

1 点目といたしましては、内部評価結果と同一結果となった点でございます。

外部評価結果につきましては、前年度の実績等を踏まえた内部評価結果を参考に、専門部会委員の皆様が、重点項目ごとに A から D の評価、または「評価できない」と判断いただき、一番多かった評価を外部評価結果としているところでございます。

今回、委員のご回答を集計した結果、すべての項目につきまして、内部評価結果と同じ評価となっております。

続きまして、2 点目といたしましては、昨年度の評価結果と比較しまして、資料中段にございます、基本目標 2 「良好な地域社会が形成されている都市」の重点項目 2 - 1 「地域に愛着や誇りをもつ「みやざきっ子の育成」」につきましては、「成果が出ている」とする評価 A から、本年度は「一定の成果が出ている」とする評価 B に低下している点でございます。

こちらにつきましては、恐れ入りますが、**資料 2 - 2** の 4 ページをお開きください。

資料 2 - 2 の 4 ページ、下段の方に主要施策 2 - 1 - 6 「地域と学校との連携の推進」という項目がございます。

ここで白抜き文字になっている指標が新型コロナの影響を受けた指標でございまして、この主要施策では6つの指標中、4つの指標が新型コロナの影響を受けたところでございます。

こちらは昨年度、緊急事態宣言でありますとか、あるいはまん延防止等重点措置の影響がございまして、地域との交流がなかなかできなかったということから、この施策につきましては、右側の平均点の欄にありますように、2.5点となっております。

ちなみにこちらの方、令和2年度におきましては4.0点となっており、この部分が大きく影響したことで、評価がAからBに低下したところでございます。

なお、委員の皆様からは、外部評価での主な意見の欄にございますように、次世代を担う子どもの育成につきましては、各種取組の強化を求める声もいただいているところでございます。

恐れ入りますが、**資料2-1**にお戻りいただきたいと思っております。

最後に、3点目といたしまして、昨年度に引き続き、基本目標2の重点項目2-3「一人一人が尊重され、生き生きと暮らせる「共生社会の確立」」及び基本目標4の重点項目4-1「交流人口や販路の拡大を図る「ブランド力の向上」」につきましては、各項目に連なる施策、指標の多くにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年度と同様、「評価できない」というご判断をいただいているところでございます。

なお、先ほどご覧いただきました、**資料2-2**でございまして、詳細な説明は本日は割愛させていただきますが、各指標ごとの達成率、あるいは外部評価でいただいた主な意見を掲載しておりますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

報告についての説明は以上でございます。

【淡野会長】

ありがとうございました。

ただ今、報告事項の1と2について、説明をいただきました。

委員の皆様方から、質問、コメント等ございましたらいただきたいと

と思いますが、いかがでしょうか。

続きましては協議事項になります。

第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂に関する基本的な考え方についてということで、こちらの方を事務局から説明をお願いしたいと思えます。

【小野参事（宮崎市）】

資料3を用いまして、協議事項の説明をさせていただきます。

資料3の1ページをご覧いただきたいと思えます。

基本計画の改訂を行う際の基本的な考え方についてでございます。

まず、1「第五次宮崎市総合計画基本計画の構成について」でございますが、基本計画につきましては、記載のとおり、第1章から第5章の構成となっております。

続きまして、2「改訂に関する基本的な考え方」でございます。

基本計画の該当ページにつきましては、見辛いのですけれども前方のモニター、またはお手元に総合計画の冊子を配付させていただいておりますので、そちらの方でご確認いただきたいと思えます。

まず、基本計画の22ページから26ページまでに掲載する第1章「基本計画の構成と推進体制」についてでございます。

こちらにつきましては、計画期間の変更に伴う所要の改訂が必要になりますので、そちらの方で対応したいと考えております。

続きまして、27ページから31ページまでに掲載する第2章「財政の見通しと行政経営のあり方」についてでございます。

このうち、29ページから31ページに掲載する「2都市経営の基本方針」でございますが、こちらは29ページに都市経営の基本方針の概論、30ページに行政経営に関する事項であります株式会社宮崎市役所づくり、31ページにまちづくりに関する事項でありますきずな社会づくり及び元気な宮崎づくりを掲載しているところでございます。

恐れ入ります、お手元に、この青い、市役所改革推進ビジョンを配付

させていただいていると思います。

このビジョンにつきましては、市の組織運営にあたりまして、市職員のあるべき姿を言語化したもので、目指すべき姿である経営理念と、その達成手段となる経営方針で構成しております。

また今後更に、市役所改革を推進するため、市役所改革推進プランの策定に着手しているところでございます。

このことから、29ページから31ページのうち、行政運営に関する事項につきましては、市役所改革推進ビジョン及び現在策定中の市役所改革推進プランに置き換えるなどの対応をしたいと考えているところでございます。

また、まちづくりに関する事項につきましては、現在庁内で検討しております、新たな戦略プロジェクトに移行したいと考えております。

新たな戦略プロジェクトにつきましては後ほどご説明させていただきたいと思います。

続きまして、**資料3**の2ページをお開きください。

総合計画の32ページから35ページまでに掲載する第3章「戦略プロジェクト」でございます。

戦略プロジェクトにつきましては、基本計画の実効性を高めるため、選択と集中の観点から、分野横断的な取組となるものでございます。

現行では、33ページから35ページに掲載するとおり、クリエイティブシティ推進プロジェクトから地域コミュニティ活性化プロジェクトまでの5つを設定しているところでございます。

しかしながら、資料中段、矢印下の囲みに記載しておりますとおり、新型コロナの影響に伴います、社会経済情勢の急激な変化等によりまして、時勢に応じた適時適切な対応が求められておりますこと等から、改めて、市として重点的に取り組む施策を再構築することにつきまして、現在庁内で検討しているところでございます。

このことから、32ページから35ページまでに掲載する第3章「戦略プロジェクト」につきましては、新たな戦略プロジェクトに移行したいと考えているところでございます。

最後に、36ページ以降に掲載いたしております第4章「健全な行財政

運営の確保に向けた取組」及び第5章「まちづくりの基本目標を達成するための具体的な取組」でございますが、基本的には前期基本計画の指標を踏襲する形で本審議会及び専門部会におきまして、協議・検討を経まして、延伸する2か年分の目標値を設定したいと考えております。

しかしながら、その下に米印が2つございます。

一つ目の米印に記載いたします宮崎市地方創生総合戦略と重複する指標の場合でございますが、総合戦略は令和6年度までを計画期間としておりまして、当該年度までの目標値を設定しております。

また、総合計画には全部で191の指標を設定しておりまして、総合戦略と重複する指標は80ございます。

このことから、総合戦略と重複する80の指標につきましては、総合戦略の目標値を踏襲することを基本に、検討を進めてまいりたいと考えております。

二つ目の米印でございます。

これまで目標値設定の基本的な考え方を申し上げましたが、一方で、新型コロナの影響を受けた指標を多数確認しているところでございます。

このことにつきましては、次の3ページをお開きください。

別紙としておりますが、こちらのほうに新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標の推移を掲載しております。

(1)全体像でございますが、コロナ前の令和元年度におきましては、各指標の達成率において、目標に対する実績が、80%未満とするものが12.5%ございましたが、コロナ禍におきます令和3年度におきましては、28.7%と、16.2ポイント悪化しているところでございます。

その下の個別指標でございますが、コロナ禍が特にプラスに影響したものと、特にマイナスに影響したものを掲載しております。

特にプラスの影響があったものとしたしましては、9つの指標を確認しておりまして、傾向としたしましてはオンライン活用の増加、地方移住・地方回帰への関心がございます。

オンラインの活用の増加における主な指標としたしましては、電子決済の利用件数がございまして、令和3年度と令和元年度で比較いたしますと約2,600件増加しているところでございます。

また、地方移住・地方回帰への関心における主な指標といたしましては、移住センターが関与した移住世帯数でございまして、同様に比較いたしますと277世帯増加しているところでございます。

一方、特にマイナスの影響があったものといたしましては、53の指標で確認しておりまして、傾向といたしましては、地域活動等への参加自粛や外出自粛、観光入込客等の激減、イベント等の中止・公共施設の休館等がございまして。

外出自粛における主な指標といたしましては、JR九州の主要3駅における一日あたりの平均乗客数がございまして、令和3年度と令和元年度で比較いたしますと約2,200人減少しているところでございます。

また、観光入込客等の激減における主な指標といたしましては、外国人宿泊者数がございまして、同様に比較いたしますと約188,000人減少しているところでございます。

これらの指標につきましては、指標の見直し、場合によっては指標を削減することも含めて、今後庁内での調整を経て、審議会並びに専門部会において協議・検討いただきたいと考えているところでございます。

以上の方針につきましては、先月21日に開催いたしました、本審議会の実務者レベルで構成いたします専門部会におきまして、ご意見を伺いましたが、異論はなかったところでございます。

加えまして、施策の進行管理という観点から、本質的な指標とコロナ禍で評価に値しない指標を整理し、後者については設定しないことも含めて検討すべきとのご意見もいただいたところでございます。

本審議会におきまして、この改訂に関する基本的な考え方についてご了承いただきました後には、改めて庁内におきまして各指標毎に精査いたします。また、庁内での調整を経た後に、まずは専門部会において協議・検討いただき、本審議会に対してご提案させていただきたいと考えているところでございます。

事務局からの説明は以上でございます。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。

ただ今、第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂に関する基本的な考え方について説明をいただいたところでございます。

委員皆様からご意見、コメント等あればいただきたいと思います。

特に今後の進め方についても言及があったかと思えます。

よろしいでしょうか。

協議事項につきまして、特に反対の意見もございませんでしたので、事務局におきましては、今後、この考え方に基づいて、市役所内部や外部委員の実務者レベルで構成する宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会において、協議・検討を進めていただきたいと思います。

どうぞよろしく申し上げます。

続きまして、6番目のその他になりますが、第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂に関するスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

【小野参事（宮崎市）】

それでは、**資料4**を用いてご説明をさせていただきたいと思えます。

資料4をご覧いただきたいと思います。

今後のスケジュールでございませう。

本日の審議会におきまして、総合計画基本計画の改訂に関する基本的な考え方につきまして、ご了承いただきましたので、この考え方にもとづき、各部局あて延伸分指標の目標値設定等を依頼する予定としております。

今後につきましては、庁内での調整をした後に、先ほども申しましたとおり、専門部会で議論していただくことを考えております。

そして、専門部会での協議結果を踏まえまして、再度指標について調整した上で、改めて専門部会で協議、といった流れを想定しております。

なお、資料中段に、11月中旬に総合計画審議会と記載してございます。

こちらにつきましては、11月10日の専門部会終了後に、そこでいただ

きましたご意見等を踏まえまして、審議会委員の皆様に対しまして、新型コロナウイルスの状況等も踏まえまして、委員の皆様への個別の説明や書面によりまして、ご意見を伺う予定としております。

また、延伸分指標以外の、例えば、新たな戦略プロジェクト等の内容等につきましては、作業の進捗状況に応じまして適宜、情報提供を行いまして、審議会委員の皆様のご意見等を伺いたいと考えております。

スケジュールの最後でございますけれども、12月26日に答申予定としておりますけれども、事務局といたしましては、本年末を目処に、第五次総合計画の改訂に関する一通りの取りまとめを終えたいと考えているところでございますので、引き続き、委員の皆様におかれましては、ご協力をよろしくお願いしたいと思います。

説明は以上でございます。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございます。

ただ今の説明についてでございますけれども、何かご意見ないでしょうか。

先ほどの協議事項のところ、勢一委員から何かご意見、コメント等ございましたらいただけたらと考えておりますが、いかがでしょうか。

【勢一委員（西南学院大学）】

ありがとうございます。

少しだけ発言をお許しいただけたらと思います。

全体的な内容や進め方については、特段異存ございません。賛同いたします。

コロナの影響が非常に大きいというのは全国的、世界的にもそうなので、そこを踏まえて短期で検討するというのは非常に柔軟な対応だと思いますので、事務局あるいは関係の皆様のお手間は相当かかると思いますが、よりよい形でまちづくりができるのではないかと考えています。

その上で少しリクエストといたしますか、ご検討いただけたらと思いますのは、今回総合計画と地方創生総合戦略を統合していくということ、これも非常に良いことと思っています。

地方創生も始まった時は、単独の意味があった訳ですけれども、既に通常のまちづくりの中に組み込まれていますので、総合計画に組み込んでいくというのは合理的な進め方だと思いますので、積極的に、迅速に対応いただけたらと思います。

その二つの計画の関係性だけではなくて、総合計画の下に色々な部門計画、様々な法律に基づいた計画が多数あるかと思っています。

このあたりも併せて目くばせをして、総合計画の中に融合できるようなものは融合していく、あるいは融合していく方向で調整を進めていくということも考えていただけるとよろしいのかなと思っています。

実際、自治体は、たくさんの法律の下で計画を策定しなければならない様な状況におかれています。

内容も重複している計画も多数ありますので、それは自治体側の目線で、自治体のまちづくり、地域のために望ましい形で、統合や一体的な策定をしていくのが望ましいのではないかという議論が国で進んでいるところです。

今その様な流れがありますし、実際閣議決定も出されていますので、少し先取りをしながら今回着手をしていただいて、次期の改訂・策定を目指していただくという形で進めていただくのがよろしいかなと思っています。

また、コロナを克服するという点では、デジタルの活用が非常に重要になってきます。

D Xの動き、テレワークを柔軟にという方向もありますので、この辺りは今後ご検討いただける部分になると思いますけれども、個別の戦略プロジェクトの中に、そうした要素を組み込んでいく形でご検討いただけるとありがたいなと思っています。

最後もう一点ですけれども、市民の方々がどこで関与できるのかというのが、このスケジュールの中では分からないなと思いました。

パブリックコメントは想定されていると思うのですが、できれば早い

段階で、内容が完全に固まる前に共有をしながら、意見をいただいて、反映させていくというプロセスがあった方が望ましいかと思っています。

市民の皆様と共有していく、恐らくコロナの問題点も含めて、共有していくということ自体が総合計画の内容に大きく関わってくると思いますので、そうした悩みも皆さんで考えていくという体制をとるためにも、少し早い段階で、市民の方々に関わっていただくタイミングがあればよろしいかと思いました。

お時間いただきました。以上です。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。

合理的なご意見だと存じます。

それでは只今のご意見に対しまして、事務局からなにかありますでしょうか。

【小野参事（宮崎市）】

勢一委員、どうもありがとうございました。

まず1点目といたしましては、総合計画と地方創生総合戦略との一体化ということでお話しいただきました。

今回、第五次の総合計画につきましては、基本構想を10年間から7年間に短縮するというのは、一つ大きな理由といたしましては、次の第六次の計画を早期に着手いたしまして、総合計画と総合戦略の計画期間を同一化するというのが大きな狙いとしてございます。

そういった中では、次期の総合計画につきましては、総合計画と地方創生総合戦略とを一体化する中で、十分検討してまいりたいと考えております。

次にデジタル等の活用につきましてご意見をいただきました。

こちらにつきましては、先ほど説明いたしました、戦略プロジェクトの見直しを現在進めておりますので、そちらが令和5年、6年の2年間

で集中的に取り組む施策となつてまいりますので、その中ではデジタルの活用を組み入れていきたいと考えているところでございます。

住民参加ということでございますけれども、今回の第五次の総合計画の延伸分につきましては、時間的な制約もございまして、厳しい部分もございますが、令和7年度を始期といたします次期の総合計画につきましては、本審議会から次期ビジョンを早期に示すこととの付帯意見もいただいておりますことから、私どもといたしましても可能な限り前倒しで着手することと考えておりますので、そういった中で、先ほど申しました、市民の皆様のご意見を伺うフレームを、策定プロセスの中に取り組んでいくことで検討してまいりたいと考えております。

貴重なご意見いただきまして、どうもありがとうございました。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。

勢一委員、よろしいでしょうか。

【勢一委員（西南学院大学）】

ありがとうございました。

確かに時間的にかなりタイトということがあるかと思います。

他方で、デジタルを活用して行う方法もあると思いますので、そのあたりは是非柔軟に検討いただけるとありがたいです。

ありがとうございました。

【淡野会長（宮崎大学）】

協議事項は以上で終わりますけれども、委員の皆様よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

では、6 その他に戻りたいと思いますが、第五次宮崎市総合計画基

本計画の改訂に関するスケジュールについて、こちらの方よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

その他、委員の皆様からございませんでしょうか。

事務局からお願いします。

【小野参事（宮崎市）】

本審議会とは直接の関係はないのですが、委員の皆様にご連絡させていただきたいと思います。

今月の29日に、宮崎広域連携推進協議会の開催を予定しております。

本日も出席の委員の皆様のごほとんどが、その協議会の委員と兼務になっているかと思えます。

こちらにつきましては当初、14時から開催ということでご連絡を差し上げているところがございますが、この会議につきましては、1市2町の地方創生総合戦略及び共創都市圏ビジョンの評価・検証についてご協議をいただく予定としております。

しかしながら、現在新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況でございます。

また昨日には、本県にB A. 5の対策強化地域の指定がございました。

そういったことから、今後の感染も不透明な状況でございます。

また、7月21日に実務者で構成いたします広域連携推進協議会専門部会を開催いたしまして、そちらの中で予定しております議題につきましては議論を展開いただき、その場で多くのご意見をいただいたところでございます。

その様な状況を踏まえまして、今月29日に予定しております協議会につきましては、現在書面協議とする方向で、国富町、綾町と最終的な協議を進めている段階でございますので、その協議結果につきましては、週明けに改めて文書によりまして委員の皆様にはご連絡を差し上げたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局からは以上でございます。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。

ただ今説明いただきましたけれども、なにか質問等ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

以上で、議事の全てを終わりました。

議長を降りたいと思います。

委員の皆様方には、議事の進行にご協力いただきましてありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

【長嶺部長（宮崎市）】

淡野会長、ありがとうございました。

委員の皆様にはご協議をいただきましてありがとうございます。

以上をもちまして、令和4年度第2回宮崎市総合計画審議会を終了いたします。

ありがとうございました。